# 平成23年度

# 事業計画書



【写真提供:日本ラフターズ協会】



社団法人 日本キャンプ協会

この平成23年度事業計画は、平成23年5月21日に行われた平成22年度第2回総会で承認されたものです。

日 次

平成23年度 社団法人 日本キャンプ協会 基本方針 2

平成23年度 社団法人 日本キャンプ協会 事業計画
1) キャンプの活動を社会に広め、発展させていく事業(普及サービス事業) 3
2) 指導者養成事業 7
3) キャンプの調査・安全に関する事業(調査・安全事業) 9
4) 都道府県キャンプ協会との連携・協力 10
5) (社)日本キャンプ協会の設立45周年記念事業の推進 11
6) 総務・財務 12

# 平成23年度 社団法人 日本キャンプ協会 基本方針

日本キャンプ協会は今年で設立45周年を迎えました。

本協会は設立当初から今日まで、一貫してキャンプの発展と普及を大きな使命とし、その時々の社会が必要とする事柄に目を向け事業を展開してきました。

この45年という時間は私たち一人ひとりにとっても私たちが生活する社会にとっても、様々な変化を体験するに十分なものであったと言うことが出来ます。

時代がうつり、生活スタイルが変わるにつれて、当然のように人々の価値観やものの考え方にも変化があらわれます。そうした中で、キャンプという特別な教育手法を継承してきた日本キャンプ協会はしっかりと時代のニーズに向き合ってきたのかを自問する節目に差しかかっているのではないかと考えます。

キャンプが一つのビジネスとして成り立つ時代に入ったことは、ある意味では私たちの望んでいた時代が到来したことだと言えます。しかし一方では、協会設立当時には考えもしなかった複雑な問題がおとな、子どもを問わず、それぞれの世代に大きく立ちはだかっています。ここ10年余りの自然体験活動のブームの渦中にあって、様々な試みは繰り返されたものの、私たちが目指す「人が育つ」キャンプの土壌は醸成されたと言えるでしょうか。

設立45周年を機に過去を振り返り、今の時代を見分け将来への備えをすることは大切なことです。それは未来を担う若者達へのよい橋渡しをするために必要な作業であり、結果を問われるものとなるはずです。 一つの節目を迎えた今、私たちは更に人々の力を結集し、新しい時代に即したキャンプのあり方を模索するとともに、キャンプが持つ大きな可能性を引き出す作業を継続しなければなりません。

9月には朝霧野外活動センターで「キャンプフェスタ 富士・朝霧」を開催します。加えて、北米では組織キャンプ150周年の諸事業、香港では第9回国際キャンプ会議と第4回アジア・オセアニア・キャンプ会議が予定されています。この好機を捉え、すべての人々の間にキャンプ・野外活動への関心・注目を高めるための事業を「Gift for the Next 100 Years」を合い言葉に元気に展開していきます。

一方、公益社団法人化への取り組みは、最終的な申請書類作成の段階にあり、各種規程類の整備を行って 秋の申請を目指します。

経済状況が低迷を続ける中にあって、社会の様々な課題に取り組み、社会貢献を果たそうとすることは容易ではありません。しかし、次の世代に素晴らしいキャンプを引き継いで行くために、平成23年度は以下の4点を基本として事業を展開していきます。

- 1. 協会設立45周年記念事業の実施と次の時代への基盤づくりを行う。
  - 「キャンプフェスタ 富士・朝霧」をはじめとする設立45周年記念事業を実施する。
  - ・ 設立45周年を機に他の組織キャンプ団体との関係を強化する。
  - ・ 設立50周年に向けて中期的展望に立った総合計画を作成し、次の時代に備える。
- 2. キャンプ指導者の数的・質的向上に力を注ぐ。
  - 新しいキャンプ指導者の養成に力を注ぎ、キャンプにかかわる人々の輪を拡大する。
  - より多くのキャンプ指導者が次のステップに進めるよう、制度やシステムの整備を行う。
  - ・ 既に指導者として活動している人々の理論的、技術的レベルアップを図り、地域の人々と協働しながら社会貢献の出来る人材を育成する。
- 3. 新しい基準に則った公益社団法人への申請を行い、新法人下での事業展開の態勢を整える。
  - ・ 公益社団法人認定のための申請を行う。
  - 事業遂行に適した組織の編成を行い、公益社団法人として相応しい事業形態を整える。
  - 会計基準の移行、各種規定(程)類の整備を行う。
- 4. 先行きの見えにくい経済的な状況に対応した、合理的な協会運営を行う。
  - ・ 理事会、運営会議、専門委員会等の組織の運営機能・権限等について、適切なあり方を定めるととも に合理的な財務管理のもと積極的な事業展開を図る。
  - 事業の費用対効果等を考慮し、先例にとらわれない事業のスクラップ&ビルドを大胆に行う。
  - ・ 堅実な事業運営を行うとともに事業の評価基準を整備し、よりよい事業展開の基準化を図る。

# 平成23年度 社団法人 日本キャンプ協会 事業計画

# 1) キャンプの活動を社会に広め、発展させていく事業(普及サービス事業)

日本キャンプ協会は「人を育てるキャンプ」の発展・普及を使命として、それぞれの時代の要請に応じた事業を行ってきた。設立45周年を迎えた今年は、「人々の成長に及ぼすキャンプの力」に改めて注目し、先人から受け継がれてきたキャンプが将来にわたって引き継がれていく贈り物~Gift for the Next 100 Years ~となるよう、取り組みを行う一年とする。

そのために会員のみならず、「人を育てるキャンプ」に携わる他団体とも協力しながら、キャンプのよさを問い直し、共有し、広めるための事業を展開する。

### 1. 「キャンプフェスタ 富士・朝霧」の実施

全国のキャンプ指導者やキャンプ愛好者、そしてこれからキャンプを楽しみたいと考えているファミリーなどが、キャンプのエッセンスに触れ、キャンプの楽しさを知り、学び、多くの人と交流することのできる機会として、「キャンプフェスタ 富士・朝霧」を実施する。

本事業は、設立45周年記念事業の一つにとどまらず、これまで開催してきた全国キャンプ大会や Camp Meeting in Japan などの要素を一つの器に取り入れた内容とすることで、日本キャンプ協会の行うイベントの今後のあり方を方向付ける事業とする。

期 日:平成23年9月22日(木)~25日(日)

会 場:静岡県立朝霧野外活動センター (静岡県富士宮市)

対象者:全国のキャンプ指導者・愛好者、一般ファミリー(3,000名)

後援:文部科学省、(財)日本YMCA同盟、(公財)東京YWCA、

(公財)ボーイスカウト日本連盟、(社)ガールスカウト日本連盟(予定)

協力:都道府県キャンプ協会・富士宮市富士丘区(予定)



【キャンプフェスタ富士・朝霧】のパンフレット

# 2. キャンプ・アカデミーの実施

キャンプは150年におよぶ歴史の中で、常にその時々の社会的課題に向き合う手段の一つとして活用されてきた。そのようなキャンプが社会に果たす役割の大きさを見つめ直し、再確認する取り組みとして「キャンプ・アカデミー ~ Gift for the Next 100 Years ~」を実施する。

また、このアカデミーを通じた思索の成果の下、今日的課題に対応したキャンプの試みを複数年の計画で進める。 さらに、「人を育てるキャンプ」に携わる他団体や海外の指導者と協力をしながら、シンポジウムやワークショップを行う。

#### ①アカデミー事業の実施

a. 出会いと体験の森へシンポジウム「キャンプで人は育つか?」

期 日:平成23年4月23日(土)

会 場:三菱商事・商事ホール (東京都千代田区)

主 催:「出会いと体験の森へ」実行委員会

実行委員会構成団体:(社)日本キャンプ協会、(財)日本YMCA同盟、(公財)東京YWCA (公財)ボーイスカウト日本連盟、(社)ガールスカウト日本連盟

b. キャンプ・アカデミー ~ Gift for the Next 100 Years ~ (東京)

期 目: 平成23年5月21日(十)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

c. キャンプ・アカデミー ~ Gift for the Next 100 Years ~ (朝霧)

期 日:平成23年9月23日(祝)

会 場:静岡県立朝霧野外活動センター(静岡県富士宮市)

※「キャンプフェスタ 富士・朝霧」内のプログラムとして実施

d. キャンプ・アカデミー ~ Gift for the Next 100 Years ~ (福島)

期 日:平成23年10月22日(十)

会場:フォレストパークあだたら(福島県大玉村)

e. キャンプ・アクティビティ・ワークショップ

期 日:平成23年12月(予定)

会 場:未定(東京都内)

共催: ICF Friends in Japan



【NCAJ45周年ロゴマーク】

# ②「Gift for the Next 100 Years 」Camp Project (仮称) の実施

キャンプ・アカデミーの成果を共通の基盤にして、キャンプを必要とする人々にそれぞれの課題に対応した キャンプを届ける事業を実施する。

本事業は複数年にわたって実施し、キャンプ・アカデミーの収益やチャリティを主な財源とした、参加者の 費用負担の少ないキャンプを開催することを目指す。今年度は、キャンプの運営体制づくり、資金集め、関連 団体との連携調整など、準備の一年とする。

### 3. キャンプ普及のための各種キャンペーン

キャンプを楽しく有意義な活動にするためには、一人ひとりが安全に対する意識を高めることが求められる。 キャンプ指導者が安全なキャンプを実施するために必要な情報、キャンパーが安全について自ら考えることの できる機会の提供を進める。

また、多くの人々が気軽に自然に触れる機会を増やすための取り組みを他団体とも協力しながら行う。

#### ①安全思想普及啓発のための取り組み

- ・ アウトドア関係団体の実施する「セイフティアウトドアキャンペーン」への参加
- 「安全標語」の募集と選定
- ・ 都道府県協会における普及啓発活動の支援
- RME (リスクマネジメントエクササイズ) の普及活動
- ・ 企業協賛を得ての「アウトドアセーフティハンドブック」の製作と配布

#### ②キャンプ普及のための取り組み

- ・ 身近な体験としてのデイキャンプの普及
- ・ アウトドアチャレンジ運営協議会が開発した「野外力検定」プログラムの活用
- キャンプの要素を取り入れたプログラムの開発

# ③「体験の風をおこそう運動」との連携、協働

### 4. キャンプインフォメーションセンターの運営

キャンプインフォメーションセンターは、広く一般に向けた情報提供機能である。ここを窓口に、キャンプ に関する相談への対応、キャンプの企画・運営受託や各種関連事業に対する講師派遣等を行う。このことによ りキャンプの普及を図るとともに、キャンプの新たな社会貢献の可能性を生みだす。

また、指導者派遣等を通じて、指導者資格を有する会員の活躍の場が広がることも期待される。

#### ①キャンプインフォメーションセンターを窓口とした情報提供

### ②講師派遣、提案型受託事業の実施等

- · Jリーグ、JOCエリートアカデミーとの協働事業
- 文部科学省「最強チームの作り方」事業への協力
- 企業等とのコラボレーション活動

#### 5. CAMPING の発行

キャンプに関する最新の情報や様々なキャンプ現場で役立つ情報を掲載した会報誌『CAMPING』を隔月で発行する。キャンプ指導者、愛好者を対象に「現場で役に立つ情報をわかりやすく提供する」をコンセプトに紙面作りをすすめる。

【年6回発行(各20,000部)】

第140号(4月/5月)

第141号(6月/7月)

第142号(8月/9月)

第143号(10月/11月)※設立45周年記念号

第144号(12月/1月)

第145号(2月/3月)



# 6. ホームページの運用・メールマガジンの配信

幅広い情報のやりとりが可能なインターネットを活用し、即時性の高い情報発信を行う。

# ①ホームページを通じた情報発信

各都道府県キャンプ協会・各専門委員会および関連団体等と連携し、会員の学習機会の拡大に資する情報の 提供をするとともに、一般向けのコンテンツを充実し、広報効果の拡大を図る。

また、会員向けページを設けることで、各種手続きの簡便化など利便性の向上を図る。

### ②メールマガジンの発行

イベント、研修会など常に新しい情報を配信し、会員及び一般への周知を図る。 (年17回)

#### ③キャンプ協会の紹介パンフレット作成

設立45周年を迎えた日本キャンプ協会の事業活動を分かりやすく紹介したパンフレットを作成し、様々な機会を利用して配布することによって、多くの人々にキャンプ協会への関心や理解を深めてもらうツールとする。



【ホームページ】のトップページ



【メールマガジン】

# 7. 自然体験活動の場の提供と施設の運営

指定管理者として静岡県立朝霧野外活動センターの運営を行うことを通して、多くの人々の自然体験活動を支援するとともに、周辺地域との協働によって新しい活動領域の開拓を行う。

また、今年度より施設利用の調整をセンターの主導によって行うこととし、開所時より実施してきた「宿泊利用団体担当者研修会」を無くし、宿泊利用者の負担軽減を図る。

# ①自主事業の実施

# 青少年自然体験事業

事 業 名	日程	対 象	備考
朝霧高原サマーキャンプ	7月3日(日)	小学校5~6年生	事前研修
~つながろう富士山~	8月6日(土)~14日(日)	中学校 1~3 年生	本研修

# 野外教育指導者養成事業

事 業 名	日程	対 象	備考	
野外活動 プログラム実習	4月15日(金)~16日(土)	利用団体の		
到7N位到 プログプム天白	11月4日(金)~5日(土)	担当者・指導者		
	6月18日(土)~19日(日)		人 4 日 分 hn 2 2 2 1 h	
長期キャンプ	7月2日(土)~3日(日)	専門学校生・短大生 大学生等	全4回参加が条件 8/6-14 は朝霧高原サマ ーキャンプと併行開催	
指導者養成講習会	8月6日(土)~14日(日)			
	10月15日(土)~16日(日)		1 インノと川竹州催	
野外教育指導者		野外教育に興味のあ		
養成講習会	2月10日(金)~12日(日)	る人・青少年団体の指 導者教育関係者等	平成 24 年	

# 県民自然体験事業

事 業 名	日程	対 象	備考
ちょっといい春感じませんか	4月23日(土)~24日(日)	家族・小グループ	
朝霧高原	5月1日(日)	家族・小グループ	事前講習会
トレイルランニングレース	9月3日(土)~4日(日)	多味・パツル・プ	レース
ステキな秋をあなたに	10月1日(土)~2日(日)	家族・小グループ	
オリエンテーリング in 朝霧	11月26日(土)~27日(日)	家族・小グループ	
	12月16日(金)~17日(土)	家族・小グループ	
スケートキャンプ	1月13日(金)~14日(土)	家族・小グループ	
	2月3日(金)~4日(土)	家族・小グループ	平成 24 年
	3月9日(金)~10日(土)	家族・小グループ	
223(ふじさん)ウォーキング	2月23日(木)	家族・小グループ	平成24年 静岡県富士山の日

# 施設開放事業

CONTRACT NO.			
事 業 名	日 程	対 象	備考
プラネタリウム	原則毎月第3日曜日	家族・小グループ	13:15~14:15
一般開放	春休み・冬休み	家族・小グループ	15:00~16:30
スケート 一般開放	11月~3月の原則日曜日	家族・小グループ	13:00~15:30
	春休み・冬休み	家族・小グループ	15:30~18:00
朝霧カーニバル	9月23日(金)~25日(日)	どなたでも	(キャンプフェスタ富士・朝霧)
スケートリンクオープニングイベント	11月6日(日)	家族・小グループ	

# 社会問題に対応した事業

事 業 名	日 程	対 象	備  考
ホッとキャンプ	3月6日(火)~9日(金)	不登校児童・生徒 引きこもりがちな青年	平成 24 年

#### ②受け入れ事業の支援

学校や地域の諸団体の利用について、利用目的に合った適切なサポートを行う。

#### ③新規プログラム開発

野外活動における安全マニュアルを遵守しつつ、朝霧地域の立地を生かした新しいアウティングプログラム

の開発(ハイキングコースやコース図の新規作成等) に努める。また、利用者が目的にそったかたちで気軽 に行うことの出来るプログラムを多様に準備するこ とで、リピーターにとっても奥深い魅力の感じられる 施設づくりを目指す。

#### 4地域との協働

隣接する富士丘地区をはじめ近隣地域との協力関係を更に深め、朝霧野外活動センターが実施する各種事業や「キャンプフェスタ 富士・朝霧」等の事業への協力を仰いだり、積極的に地域の行事へ参加をすることによって相互理解を図り、地域の活性化に寄与する。



【朝霧の地域の人々に支えられたプログラム】

# 2) 指導者養成事業

日本キャンプ協会は昭和50年から指導者養成事業(資格の発行)を開始し、現在までに延べ10万人を超える指導者を輩出してきた。その養成にあたっては、それぞれの時代にあった内容が検討され、数度の養成課程(カリキュラム)の見直しが行われてきた。

こうして養成されたキャンプマインドあふれる指導者によって実施されたキャンプは、さまざまな年代の人々に魅力的な成長の場を提供してきた。

訓練された指導者によって導かれるキャンプは、キャンパーたちの「問題解決能力」や「コミュニケーション能力」「危険回避能力」などを育み向上させることが出来るが、これはまさに今の社会が求めているものである。

従って、「人が育つ場と機会をつくり出す」ことの出来る指導者を社会に送り出すことは、日本キャンプ協会の社会貢献そのものであると言える。

本年度は更に時代の要請に応えられる指導者の養成に注力するために、時機に相応しいカリキュラムや講習会運営方法等の見直しをにらみながら講習を行っていく。特にディレクター2級マネジメントディレクター (MD) については、課程認定団体における養成を2年間にわたって試行する。

また、指導者が誇りを持って活動できるよう、キャンプ指導者の認知の拡大を図ると共に、都道府県協会と連携して現場での活用を進めていく。

#### 1. 指導者養成講習会

# ① ディレクター2級 (PD) 養成講習会 (全国2ヶ所)

開催地	日 程	会場(予定)	協力協会
埼 玉	11月18日(金)~20日(日)	埼玉県立名栗げんきプラザ (埼玉県飯能市)	東京都
大 阪	平成24年1月20日(金)~22日(日)	大阪府立少年自然の家(大阪府貝塚市)	大阪府

※PD講習については、文部科学省が進める「自然体験活動指導者養成事業」と連携し、一般にも開放して小学校等が実施する自然体験活動を支援する指導者養成も同時に行う。

### ② ディレクター2級 (MD) 養成講習会 (全国2ヶ所+課程認定団体13校)

開催	ш	日 程	会 場 (予 定)
大	阪	平成24年1月21日(土)~22日(日)	大阪府立少年自然の家(大阪府貝塚市)
東	京	平成24年2月18日(土)~19日(日)	国立青少年総合センター(東京都渋谷区)

#### ※課程認定団体13校

北翔大学(北海道)、仙台大学体育学部(宮城県)、千葉大学教育学部(千葉県)、日本大学文理学部(東京都)、田園調布学園大学(神奈川県)、国際自然環境アウトドア専門学校(新潟県)、愛知教育大学(愛知県)、桃山学院大学(大阪府)、関西学院大学(兵庫県)、福山YMCA国際ビジネス専門学校(広島県)、九州共立大学(福岡県)、福岡大学スポーツ科学部(福岡県)、熊本YMCA学院(熊本県)

# ③ ディレクター1級養成講習会(全国2ヶ所)

開催地	日 程	会 場 (予 定)
東日本	10月7日(金)~10日(祝)	国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場市)
西日本	11月3日(祝)~6日(日)	吉野宮滝野外学校(奈良県吉野町)

# ④ ディレクター1級検定会(全国2ヶ所)

開催地	日 程	場 所 (予 定)
東日本	平成24年1月14日(土)~15日(日)	国立青少年総合センター(東京都渋谷区)
西日本	平成24年1月28日(土)~29日(日)	大阪府立少年自然の家(大阪府貝塚市)

#### 2. 指導者の審査・認定

①キャンプインストラクター新規資格申請者の審査・認定

4,000名を目標

②キャンプディレクター2級申請者の審査・認定

150名を目標

③キャンプディレクター1級申請者の審査・認定

5名を目標

(4)指導者資格(インストラクター・ディレクター)の更新

10,000名を目標

⑤課程認定団体の審査・認定

新規課程認定団体 10団体を目標

# ⑥課程認定団体との連絡・調整

課程認定団体(都道府県協会と大学・専門学校等)との連携を図るため、各地域(ブロック)ごとに集まる場と機会を作っていく。 課程認定団体研修会:東京・5月21日(土)他

# 3. 指導者養成制度の改善に関する検討

現在のカリキュラムの見直しとともに、指導者の認知拡大や都道府県キャンプ協会等での指導者活用にも取り組んでいく。

#### 4. 指導者の増強に関する試み

新規キャンプインストラクター養成数の増加と、ディレクター2級を目指す指導者の意欲を高めるための試みを行う。各地域によって状況が異なるため、重点地域を設定し、個別の課題に対応出来るよう取り組みを進める。

# ①都道府県キャンプ協会が行うキャンプインストラクター養成の総合的な支援を行う

今年度対象重点地域:北海道、宮城県、埼玉県、愛知県、近畿ブロック

### ②都道府県キャンプ協会と課程認定校の連携モデルを構築する

今年度対象重点地域:栃木県、愛知県

#### 5. 各都道府県キャンプ協会の実施するBUC等の承認・支援

# 3) キャンプの調査・安全に関する事業 (調査・安全事業)

調査やその他の情報収集によって得られる情報を蓄積、整理し、わかりやすく社会に提供していくことはキャンプの発展、野外活動における安全思想の普及啓発にとって大変重要である。

また、指導者が実践を通じて得た多様な情報は、指導者同士で共有されることによって、その価値をいっそう高めることができる。

今年度は、従来の取り組みを見直しリニューアルを図るとともに、新たな取り組みを進め、キャンプに 関する集合知の形成を目指す。

#### 1. 定期刊行物(名称未定)の発行

これまで「キャンプ研究」として、会員の原著論文、研究資料、実践報告等をまとめた冊子を発行してきたが、名称変更も含む大幅なリニューアルを行い、新たな定期刊行物として発行する。

10月・2月の年2回発行

※10月発行分は「キャンプフェスタ 富士・朝霧」特別号

#### 2. キャンプ白書の発行

キャンプに関連する幅広い情報を集めたものとして、会員の携わるキャンプの状況や各種調査、さまざまな関連資料からみる日本のキャンプの現状を紹介する「キャンプ白書」を設立45周年記念事業の一つとして9月に発行する。

# 3. 国内外の情報の収集と提供

#### ①キャンプ関連情報の収集と提供

第9回国際キャンプ会議/第4回アジア・オセアニア・キャンプ会議への会員等の参加支援

日 程:11月4日(金)~7日(月)

会 場:香港 YMCA 烏溪沙(ウーカイシャ)青年新村

・アメリカキャンプ協会年次大会への参加支援

日 程: 平成24年2月21日(火)~24日(金)

会場:米国ジョージア州アトランタ



【ACAの展示会場の様子】



【香港 YMCA 烏渓沙 (ウーカイシャ) 青年新村】

#### ②安全情報の収集と提供

従来から蓄積してきた安全に関する情報と新たに収集された情報の整理を行い、最新の有益な情報として広く公開・提供する。

# 4. 会員に対する調査

会員に対する調査を行い、キャンプの普及ならびによりよい協会事業運営の一助とする。

#### 5. 出版事業

キャンプ指導者養成に用いるテキストを発行・販売する。 また、時節に応じて必要な出版物を発行する。

- ・「キャンプ指導者入門」の発行
- 「キャンプディレクター必携」の発行
- ・ 教員向け自然体験活動指導のてびき 「キャンプの積み木(仮称)」の発行



# 4) 都道府県キャンプ協会との連携・協力

キャンプの普及活動は具体的な事業を通して行うことが必要であり、地域の実情にあった活動を提供するためには都道府県キャンプ協会が活発に機能することが求められる。そのために、社会や時代の状況に即した諸 基準の整備を行い、現場主義に立った活動の支援体制を作る。

### 1. 各都道府県キャンプ協会の広報活動の支援

会員がより身近な情報を得ることができるよう、各都道府県キャンプ協会の広報活動の支援を行う。

### ①会報同封サービスの提供

各都道府県キャンプ協会の発行する広報誌を『CAMPING』に同封することで、会員が身近な地域の情報をより 多く得られるようにする。本サービスを利用することで郵送費を低く抑えることができるので、情報発信の機 会が増加することが期待される。

# ②ホームページサービスの提供

各都道府県キャンプ協会が独自のホームページを運用できるサーバーを提供するとともに、日本キャンプ協会ホームページを通じた事業告知や事業報告を行う。

# ③各種情報の提供

各都道府県キャンプ協会が地域での活動の幅をひろげることに役立つ各種情報を効果的に提供できるように、都道府県キャンプ協会向けの情報サービスを提供する。(ニュースレター発行、グループウェアの導入などを行う)

#### 2. 日本キャンプ協会の公益法人化に伴う各都道府県キャンプ協会の規約等の整備とミッションの明確化

# 5) (社)日本キャンプ協会の設立45周年記念事業の推進

設立45周年を迎えた日本キャンプ協会の将来的な展望を図るために、記念事業を実施する。

#### ①キャンプフェスタ 富士・朝霧の実施

従来の「全国キャンプ大会」に「 Camp Meeting in Japan 」 や「自然体験活動青年ミーティング」等の要素を加えた全国的なイベントとして「キャンプフェスタ 富士・朝霧」を、9月22日(木)~25日(日)の期間で朝霧野外活動センターを主会場に開催する。











【メイン会場となる朝霧野外活動センター】

【バラエティー豊富な野外活動プログラム】











【多彩なゲストスピーカー】

【様々な報告・事例研究・研究発表】

# ②キャンプ・アカデミーの開催

キャンプが社会に果たす役割の大きさを見つめ直し、再確認する取り組みとしての「キャンプ・アカデミー」を今年度は45周年特別事業とし、「Gift for the Next 100 Years」のテーマのもとに全国(東京・福島・静岡等)を巡回して実施する。

### ③キャンプ白書の発行

キャンプに関連する幅広い情報を集めたものとして、会員の携わるキャンプの状況や各種調査、さまざまな関連資料からみる日本のキャンプの現状を紹介する「キャンプ白書」を9月に発行する。

#### 4公益社団法人の申請

秋に公益社団法人への申請を行うことを目途に、定款、各種組織、規程等の最終調整を早期に実施し、平成24年度よりの公益社団法人化を目指す。

#### ⑤中期総合計画委員会

公益社団法人化を前提とし、平成26年に迎える協会設立50周年の年度をゴールとした中期的な総合計画を策定する。

※ ①②は普及サービス事業、③は調査・安全事業にも記載

# 6)総務・財務

長期化する景気の停滞状況を受け止め、健全な財務管理に努めるとともに本協会の公益社団法人化を前提と した各種規定(程)類の整備を行う。また、都道府県キャンプ協会の円滑な事業展開のために効果的な支援を行 う。

# 1. 諸会議の開催

総 会 ①5月21日(土) ②平成24年3月24日(土)
 理 事 会 ①5月21日(土) ②平成24年3月10日(土)

 常
 務
 会
 随時

 運
 営
 会
 議
 随時

都道府県事務局担当者会 ①5月22日(日) ②9月25日(日) ③平成24年3月25日(日)

ブロック会議
上記、都道府県事務局担当者会時及び各地で随時開催

# 2. 日常総務事務

会員情報管理

会費収納

事業方針・計画・予算の管理

日常経理事務

収益事業の運営管理・助成金事務

人事管理·研修

諸規定(程)の整備

他団体との窓口

	-
--	---

